

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年8月31日

公表:令和3年9月15日

事業所名 スクールセンター未来

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			指導訓練室等は、児童一人当たり国の基準の2.47㎡を超えています。また集団活動が行えるよう、死角がなく指導員の目が届くよう配慮しております。	プログラム活動に合わせ、各個室を使った活動や施設外活動を行いながら、十分なスペースが確保できるように調整を行いつつ、お子様が活動のしやすい環境作りに努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切である	5			国の定める人員配置の+3.0名を加配して対応しております。	更なる職員の増加を検討しつつ、職員のスキル向上にも努めて参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	2	廊下や階段には、手すりを設置して、お子様の安全に十分な配慮を行っております。	利用児の必要に応じて、更なるバリアフリー化や設備の切り替え等の対応を検討して参ります。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		日々、営業開始の前後に全体ミーティングを行っております。	今後、職員間でPDCAサイクルに支援計画をしっかりと構築し、支援に繋げて行ける様に努めて参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		アンケート調査等は、保護者の皆様に向け、口頭での助言等を頂いております。	今後、保護者の皆様からの施設評価を用いて、その評価やご意見を職員間で共有し、業務改善に努めて参ります。

業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページ内で自己評価のページを作成しております。	保護者の皆様からの施設評価を用いて、その結果をホームページにて公表させていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5	現在は公式に外部評価をお願いしてはおりませんが、繋がりのある児童福祉関係者等の意見を参考に業務改善に努めております。	今後、ガイドラインの「可能な限り第三者による外部評価を導入して、事業運営の一層の改善を図る。」を踏まえて、社内検討し実施に努めて参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	1	施設内にて、定期的な研修を年間予定として行っております。	今後は、外部研修も視野に入れ、職員が参加することによりスキルアップに繋がるように、必要な研修を選択し、全職員が参加できる様に検討していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			児童発達支援管理責任者が計画案に基づき、サービス担当者会議でお子様の支援計画案の見直しを行い、計画を作成しております。	定期的な見直しを行い、より分かりやすく、より丁寧な支援計画が作れるよう努めて参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			標準化されたアセスメントツールを用いて、保護者の皆様にヒヤリングを行いながら、お子様の適応行動をしっかりと分析しております。	しっかりとアセスメント出来るものを使用しており、誰もがわかりやすい記入用紙を目指しております。今後は状況に合わせて、新様式の作成を検討して参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている			5	チーム形式ではなく、担当での立案となっております。	今後はチームでの立案ができる様に構築し、職員誰もが行えるように指導等を徹底して参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			主活動は、季節やその日のお子様に合わせてプログラムを実施し、自由活動では、ドライブや散歩などを実施しています。	今後も状況に合わせて、内容等を変更し実施して参ります。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2	2	コロナ禍という情勢である事を踏まえて、施設内で楽しく活動ができる様に設定しております。	今後、より細やかな設定を設け、お子様が楽しみやすく活動できる様、努めて参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			お子様や保護者様のニーズと相談事業所の利用計画に基づいて、個別活動や集団活動を組み合わせ作成しております。	お子様と保護者様のニーズの変化に合わせて、計画の見直しを行って参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		支援前には必ずミーティングを行っています。その日の利用のあるお子様についての支援内容や支援時の留意点、また保護者様からの連絡事項等も確認しております。	今後も継続してミーティングをしっかりと行い、役割分担についてさらに精度を高めて参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	1	支援後には送迎に出していない職員で、振り返りを共有しています。その場にはいない職員は、次のミーティングの際、又は電話連絡にて伝達、確認しております。	今後も継続し、記入用紙を用いるなどしながら、振り返りをしっかりと行って参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	1	日々の支援記録について、送迎や清掃、消毒の徹底等で、その日のうちに記入が出来ていない時があります。その際には、迅速に行っております。	今後、業務改善を行い、出来るだけその日のうちに支援記録が記入できるように行って参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			児童発達支援管理責任者が中心になってモニタリングを実施し、適切に見直しを行っております。	今後も継続して、児童発達支援管理責任者がモニタリングを行い、職員の意見も取り入れつつ、見直しを行って参ります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			ガイドラインの総則の基本活動にそった、プログラムを創作活動や余暇活動など、複数と入れて行っております。	今後も継続して、お子様が楽しく成長できるように、努めて参ります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達支援管理責任者が精通している職員に聞き取りを行い、参加しております。	今後も継続しつつ、精通した職員が参加できる様、検討して参ります。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			学校の送迎時や、月に1度下校時間の確認等や、必要な時に学校の教頭先生や担任の先生、コーディネーターと連携を図っております。	今後も継続して、学校との連携や協力体制をしっかりと行って参ります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	2	現在は、医療的ケア児の支援は行っていません。	今後も医療的ケア児を受け入れる場合、お子様の主治医との連絡体制を保護者様に確認のもと、整えて参ります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		2	現在まで児童発達支援事業所や保育園、幼稚園等との情報共有と相互理解を図ってまいりました。	今後も定期的な連携を行っていくよう努めて参ります。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			2	3	現在学校を卒業するお子様がいらっしゃいません。	今後、対象のお子様がおられましたら、情報提供を行い、障害福祉サービス事業にスムーズな移行が出来るように努めて参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		2		こども発達支援センターさんやさくら学園さん、各事業所に情報共有と研修を受けております。	今後も継続して、さらに専門機関との連携を強め、より良い環境作りやより専門的な知識を得て、職員に対するフィードバックの徹底をし、お子様に提供できる様努めて参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				5	コロナ禍もあり、放課後児童クラブや障がいのない子供との交流は控え支援をしております。	9月に予定していたお祭りがあり、来年の情緒を踏まえて、開催できれば地域の方を招待する予定としております。また地域の会館にも開放の検討してもらっており、そちらでも交流を検討しております。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5			小樽市こども支援部会に参加しております。	今後も継続して参ります。他の専門家会議等がある際は、積極的に参加をして参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		連絡帳での日々の内容や、送迎時に状況を説明しております。また、必要時には電話連絡や家庭訪問での面談を行っております。	今後もお子様の発達や状況に合わせ、保護者様と話し合いを継続して、課題の共通理解に努めて参ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	連絡帳や送迎の際に、利用時の成果等をお伝えして、お子様の成長に役立てて頂ければ幸いと思っております。又、お電話でのお問い合わせにも対応させて頂いております。	お子様の日々の成長に合わせ、ご家族とお話する機会を増やして行ける様に努めて参ります。
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			見学、契約時に必ず、丁寧に説明を心掛けております。また、保護者様の疑問についても、送迎時や電話での対応をさせて頂いております。	今後も継続して、よりわかりやすく説明を行って参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3		連絡帳や送迎の際に、保護者様のお悩みを相談を受けております。また、電話等での対応等もお伝えしております。	定期的に保護者様との面談が出来るように、保護者様と相談をしながら、検討して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	4	現在のコロナ禍という社会情勢を鑑み、父母の会を開催しておりません。	今後の社会情勢を踏まえ、保護者様と共に検討していきたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			フローチャート作成しており、相談窓口を設置しております。また、苦情があった場合は、管理者に迅速に伝達され、適切に対応できるようになっております。	今後も継続して行い、現在は苦情相談はありませんが、いつでも相談しやすい事業所である事を心掛けて参ります。

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			定期的に「未来通信」を発刊しております。	今後も継続しつつ、より見やすくわかりやすく広報誌を目指して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	5			個人情報取り扱いには、施錠された部屋、又は金庫内にて十分な注意を払っております。	今後も継続して、守秘義務を守り、十分な注意を心掛けて参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			お子様にあった、視覚支援や聴覚支援を取りれて、見える化など特性に合った伝達を行っております。	お子様の発達に合わせて、有効的な意思疎通や情報伝達方法を、保護者様と相談しながら行って参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		1	4	日本赤十字社と献血を行う予定しておりましたが、コロナ禍という社会情勢であり、現在開催時期の調整をしております。	今後は社会情勢の回復後、献血について年2回の開催を目指します。また、スクールセンター未来のお祭りが開催出来る情勢であれば、地域の方の招待を検討して参ります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		マニュアルの策定は行っております。マニュアル通りに対応しております。	保護者様への周知が徹底されていない現状があります。迅速に各保護者様にご説明を致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			9月と3月に防災訓練を定期的に行っております。	今後も必要な災害を想定し、訓練を行っていくよう努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			定期的に虐待防止の研修を行っております。また、職員にも最新の資料を配布し、適切な対応をしております。	虐待防止委員会で取りまとめた項目を職員に周知の徹底を図り、虐待防止の啓発に努めて参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		1	保護者様には、必要と判断されうるお子様の契約時に説明を行っております。	今後、現在該当者がおりませんが、身体拘束が必要と判断せざる負えない場合の対応を職員会議でしっかり協議し、組織的に決定して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2	3	現在、食物アレルギーのあるお子様は、いらっしゃいません。	食物アレルギーあるお子様が利用となった際には、保護者様に確認のもと医師の指示書を拝見させて頂き、職員間で状況共有の徹底を行って参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2		3	日々の振り返りやヒヤリハット事例時に、職員間で迅速に話し合っている。また、再発防止のための再確認も行っております。	今後も継続して、職員間での情報共有を徹底しながら、事例集を継続的に作成し、安全対策に努めて参ります。